



津奈木公民館

電話(78)5400
○右の題字は「徳富蘇峰さん」の額を写したもの

木茶津



津奈木隧道登録有形文化財(プレート)



あけぼの大学 津小で給食会

津奈木校区「あけぼの大学」では、今年度最後の企画として、津奈木小児童との交流を兼ねた給食会を実施しました。受講者の時代には学校給食どころか食べる物自体も少なくなった。児童たちの元気いっぱいの授業風景に、参加者も授業中にもかかわらず「こんなにちはら」と挨拶を交わしながらのほほえましい参観となりました。

物がなかつた時代から、物があふれている現在、新たな問題が深刻になつてきています。そこで給食を食べた後、栄養士の宮崎先生に、学校給食の意義や、子どもたちが抱えている食の状況などの話を聞きました。これまで培つた知識や古き時代の良さを伝えるために、今後も交流を続けたい

日本の諺に「笑う門には福来る」というのがあります。実際に医学的にも心と体への影響が注目をされ、具体的には自律神経の活性化や大脳活動の活性化、動脈硬化や腰痛予防の効果、さらにはがん細胞を退治する細胞が活性化するなどの効果があることが知られています。このように「笑い」は、人々に温かく心の交流を生み出すだけではなく様々な幸せを運んでくれる万能選手なのです。

二十一世紀は心の時代だと言われています。これからもまずは自分から、そして家庭から、地域から「笑顔」のある空間をつくつけていきましょう！

笑門福来(田)ワッハハハ
福田 大作(桜戸)

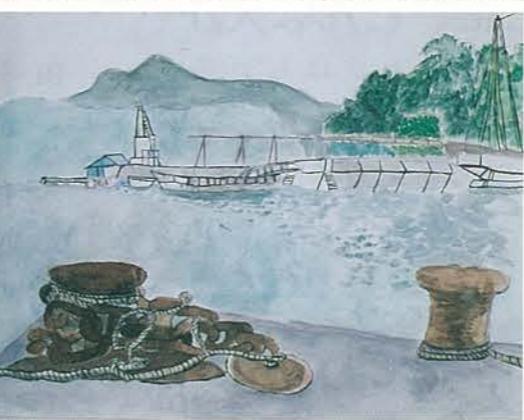
平成16年3月1日

津奈木公民館報

「海」

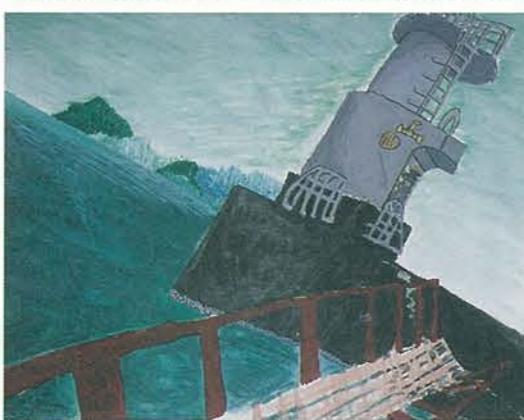
津奈木中一年

真野 敬愛



ぼくが、この作品で特に頑張った所は、目の前にある鎖やロープです。どちらも複雑にからまっているので、特に苦労した所でもあります。

その他、遠くの山の色あいや、海についている影などを工夫しました。



僕は海のにおい、海の色、きれいな海が好きです。海と漁師の安全をみまもっている灯台はすばらしくて好きです。

海の色を出すと、灯台を力強くかくのに苦労しました。場所は大泊でかきました。

子ども美術館(24)

津奈木中一年

山崎孝次郎

「薩摩街道」探訪

去る、一月三十一日(土)、午後から文化センターを出发しました。絶好のウォーキング日和でした。

町内はもとより芦北、水俣から十八名の参加者がありましたが、野坂の浦についての場所の特定についてはい



歌坂峠で小休憩

平成15年度 津奈木町生涯学習フェスティバル

手をつなぎ
学ぶ楽しさ
生かす喜び
(津奈木町生涯学習キャッチフレーズ)



生涯学習として町民講座や自主的な文化活動に頑張っておられる方々の1年間の学習の成果を発表します。また、町内小学校児童の太鼓や劇なども行われます。

皆様のご声援をよろしくお願いします。

発表部門

2004年3月7日(日) 12:30開場/13:00開演
展示部門

2004年3月3日(水) 9:00→17:00
→3月7日(日)

*ただし7日は9:00→16:00

開催場所

つなぎ文化センター

◎主催/津奈木町・津奈木町教育委員会・
津奈木町公民館
津奈木町教育委員会/
tel0966-78-5400 FAX0966-68-4945

休館日が変わります
津奈木公民館
休館日 年末年始 火曜日 毎月末日
熊本県立図書館総務課
〇九六一三八四一五〇〇〇
〇九六一三八二二丁目五番一號

十五年度もいよいよ年度末になろうとしています。この一年間読者のみなさまには大変お世話になりました。引きづき十六年度も御指導、御支援よろしくお願いいたします。なお、おそらくまたが、長期に亘った「郷土を知ろう」が十一月一日号(三五三)をもつて、無事終了となりました。執筆下さいました岡松莊一郎様に改めて、御礼を申し上げたいと思います。

今後も先生の益々の御健勝を祈念申し上げます。

編集委員一同

疑いたい程あでいました。山頂近くの「歌坂峠」で小休息。そこからの眺めは浜崎、中尾、倉谷方面が一望でき津奈木の南北への交通の流れがよくわかりました。峠から脇道に逸れてオンノジョウ(洞窟)を探検し、杉林・雜木林と獸道のよう線沿いに着きコースを無事終了。当時、旅人の苦労はどうであつたろうか?想像もつきない往還であった。次に津南保育園の前から、「歌坂峠」へ向って、竹林・杉林・雜木林と獸道のような道……これでも当時は往還だったのだろうか?…とまだ痛切に感じました。

海岸等で地点は疑問という問題提起がありました。先ず久子の小みかんの原本を見ましたが、以前生い茂っていた原本は枯死寸前で何らかの手を加えなければと痛切に感じました。

次に津南保育園の前から、「歌坂峠」へ向って、竹林・杉林・雜木林と獸道のよう線沿いに着きコースを無事終了。当時、旅人の苦労はどうであつたろうか?想像もつきない往還であった。峠から脇道に逸れてオンノジョウ(洞窟)を探検し、浜崎、中尾、倉谷方面が一望でき津奈木の南北への交通の流れがよくわかりました。峠から脇道に逸れてオンノジョウ(洞窟)を探検し、浜崎、中尾、倉谷方面が一望でき津奈木の南北への交通の流れがよくわかりました。

